

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.34</b>					<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.6</b>	0.15	-	-			<b>3.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		<b>4.2</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音	壁・床に吸音材を使用	<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-			<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-			<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率:2.39%	4.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度	全般照明方式、設計照度500lx	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
3.4 照明制御	事務室照明3点減/スパン、明るさ自動調光	<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.2</b>	0.25	-	-			<b>4.2</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	ほぼF☆☆☆☆建材を使用、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>			0.40	-	-			<b>3.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>2.3</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室 天井高 2.9m	5.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース設置	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	インテリアパース作成	5.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		<b>5.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	清掃・維持管理が容易な材料の使用	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	清掃・維持管理が容易な納まり・レイアウト	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.5</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外排気ダクトはガルバリウム鋼板を使用	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水配管は、塩ビライニング鋼管。排水配管は、耐火2層管もしくは、配管用炭素鋼鋼管を使用。Eは、不使用。	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高 4.0m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.126	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	屋上に機器を集約設置。冷水管・温水管は、更新・修繕のしやすい屋上のみに設置。	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	配管はPSあるいは天井内に設置	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	屋上等に将来用の機器スペースを確保	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		外構緑化指数:50.52% 建物緑化指数:39.76%	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.689	5.0	0.09	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.84 住宅(専有部) 0.83	4.2	0.57	-	-	4.2
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED採用	4.2	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.23	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	水栓に節水コマ等を使用。節水型便器を選定。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材、磁器質タイル(食堂カウンター)	4.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体・仕上げ材・内装材は容易に分別可能	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着剤	4.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:88%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		-	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物置場を設け、分別回収を行う	4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を適用	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	